

部を破壊した焼夷弾によつて生じた火災により焼死したことが判明した。本日の重慶は凄じ
い混乱より立直らんとしてゐる、市街は崩壊物を取片付けられ、市の水道も復舊した、手足
を失へる屍體も片付けられた、たゞ消すことの出来ないのは半ば廢墟に掩はれた市街で猛烈
な爆撃の思ひ出を新にしてゐる。爆撃直後日本、朝鮮、臺灣反ファシスト聯盟は「日本の爆
撃に對する支那の抗議に同情を披瀝するものとして」救援に三百元を寄附した、
寄附者の内には女子三名を含む日本人五名、朝鮮人一名、臺灣人一名と朝鮮義勇團員及臺灣
革命黨員が含まれてゐた。

極秘

内閣情報部五・一一 情報第四號

一 獨逸トランス・オーシエン新聞電報放送 (六日) (朝鮮總督府通信局錄取)
重慶報

四日夕刻午後六時重慶上空に現はれた日本爆撃機群は編隊で飛行し、少くとも市の三分の一が
焼夷弾によつて炎上する程の正確さを以て投弾した。獨英佛の領事館は襲撃の道筋にあつて、
ドイツ領事館は附近に落ちた爆弾の反動で一寸さした損害を蒙つただけだったが、英佛兩領事
館は爆弾に打たれて其の中に避難してゐた者に死傷者を出した。中央通信社の建物も間近に落
ちた爆弾によつて損壞し、社員數名が負傷した。爆撃の五分後重慶市は炎上し、市民は恐怖に
襲はれ火焰より逃げのびんとしてゐた。市の下町から、破壊を免れた山手方面に通ずる街路が
極めて少い事實によつて、忽ち混乱は通行を不可能ならしめ、狂氣の如く市民は壊滅の市より
脱出せんとしたので戦慄すべき光景を呈した。ドイツ領事館の三方面は猛火に襲はれたが、建
物には延焼しなかつた。市中央部の電燈、電話線は絶たれて、完全なる孤立に陥つた。目貫の
ビジネス街は六日に至るも各所尙燃え續けてゐた。空襲以來行方不明となつた外人の中に市の
中心に戰場を持つてゐた二人のドイツ人がある。重慶との通信連絡一切が絶たれたのでトラン
ス・オーシエン通信員は前記の通信を打電するため香港迄飛ばねばならなかつた。

(註)

六日附放送にして情報として配布せざるものに左の如きものあり

一、成都ロイテル特報

重慶XRVF無線電信局の壊滅のためか重慶ロイテルは本日成都國際無線電信局（XRVF）を利用しおれり

重慶空爆詳報（成都中央通信社報に同じ）

ニ、マニラU・P新聞電報放送

中立法に對する米大統領の態度

三、重慶露語放送

内容は前記成都支那中央通信社報略同じ

内閣情報部五・一一 情報第五號

重慶米人對日武器禁輸を要求

同盟來電—不發表

香港十一日發同盟

重慶U・P電に依れば重慶にある米國居留民は十日Y・M・O・A主事ジョーヂ・フィツチの名でルーズヴェルト大統領、ハル國務長官、ピットマン上院外交委員長あて書翰を送り我が重慶爆撃を非難し、對日軍需品輸出禁止を要求した、大要左の通り。

重慶在住米國人は日本の爆撃の熾烈なるに驚愕せり、而も此の行爲は支那の抗戰決意を固からしむるのみだ、米國は過去廿ヶ月間日本にガソリン、重油、綿、鐵を送り此の罪惡に協力した、之は中立の精神に違反するものである、我等在留米人はアメリカ政府が即時之等の禁輸を斷行する事を要求する。